

ロープレース83 振り返り JCDA方式 10/22(土) まっちゃん

設問

[問い1] 質問6つ

- (1) 分かってくれない人がいないとはどういったことでしょうか？
- (2) 研究開発とはどのようなことを業務内容としてさせているんでしょうか？
- (3) 今のお仕事が天職ではなかったとしたら、どのように思われますか？
- (4) 主義主張が強いということに対して、ご自身ではどのように思われますか？
- (5) 働きがよいという今の環境を改めて、どのように感じられていますか？
- (6) あたり前のことが仕事になっているということをどう感じますか？

[問い2]

事例ⅠのCCt10 (相応しい・相応しくない) 良かった点

理由: 研究開発の仕事をしていて、どのように感じているのが聴くことができ、幼少期から、そういったことが好きだったという自己概念を伺うことができた。

事例ⅡのCCt11 (相応しい・相応しくない) 悪かった点

理由: 冒頭の分かってくれない人がいないということに関して、面談の中で伺うことができなかった為、相談者の状況をより深く把握することができなかった。

[問い3] CC視点の問題点

研究開発の仕事は好きだが、この仕事をする為に生まれてきたという感覚が分かっておらず、天職に付きたいかどうかも分かっていない為、相談者が考える天職についての価値観の自己理解不足が考えられる。また、先輩に論破されて、納得がいかないが偉そうに言う立場ではない為、言い返せないといった発言より、研究開発という仕事への仕事理解不足があると考えられる。

[問い4] 今後の展開

仕事を続けることが不安で、分かってくれない人がいないという相談者の感情を丁寧に傾聴し、冷静に今後のキャリアについて考えられるように促す。その上で、相談者にとってこの仕事をする為に生まれてきたという感覚がどういったものなのかについて整理し、そういった感覚を持つべきであるのかについて内省を促し、価値観の理解を促進させる。また、職場の上司へ話を聴き支援を行い、研究開発でのチカラで働く意味について理解を促す。これにより、相談者が今後のキャリアを主体的に意思決定できるように支援する。